

フランチヨタ社 野中副社長の警告メッセージ(最後の箇所のみ和訳)

2009.4.9

私は最後にもう1つ諸君に言いたいことがある。

それは叫び声を発し、他人を阻止し、霧笛や太鼓を鳴らし、発炎筒を発射したりしている者たちのとっている態度に関してである。

我々は、諸君のこうした行動に対して何度も防御して来たが、今後はもはやこれ以上このような行動を容認しないであろうということを、諸君に通告する。経営権を侵害し我々の労働者を混乱させる類の態度は、絶対に受け入れられるものではない。

私は諸君にいま一度繰り返す。

諸君の中でこのストに身を置いている者たちよ、明日から職場に合流しなさい、働いている90%の諸君の同僚に合流しなさい。

経済的な困難を抱えている者たちに対しては、我々は解決策を見出すであろう。

私は諸君に対し繰り返し述べるが、個人的な問題を抱えている者たちに対して、私が諸君と共にそのような問題に対処し、個々人ごとの対応策を諸君にもたらず用意がある。

ストを続けたいと思う者たちよ、諸君には支払われないであろう。しかも、スト不参加者を阻止することを再度始める者たちに対して、我々はいつまでも我慢しないであろう。

我々は、非難に値する行為を確認する複数の警備員を持っており、そのような行為の実行者は結果について責任を負わなければならないことになるであろう。

私が今日ここで述べたことはニュースフラッシュになるであろう。私は、諸君がこのストを止め、明日から我々が全員一丸となって自動車製造を再開することを、強く念願する。

TMMFは、欧州大陸における唯一のトヨタ車生産組織である。我々の敷地は、年間27万台を生産する規模を持っている。

グループの経営陣は、我々に大きな希望を託している。

その希望を砕くな！必要とされる台数と必要とされる品質とを生産することによって、グループは将来我々に第2のモデルの製造を託、TMMFの収入は増大するであろうから、その利益が諸君の生活レベルの上で認識されるものとなるであろう。

諸君はストを続けても何も得られるものはない、ただ諸君が我々の信頼を失うだけである。明日から、共にゼロから再出発しよう。